



能登半島地震 復興支援企画「のとのかけはし」第2弾 本学学生制作の漆箸を返礼品とした寄付金募集を行います

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）では、能登半島地震復興支援を目的とした企画「漆で繋ぐプロジェクト」の一環として、「のとのかけはし」と題した漆箸を本学学生が制作し、その箸を返礼品とした寄付金募集の第2回を行います。

■「漆で繋ぐプロジェクト」について

上記震災において、能登半島に位置する石川県輪島市は大きな被害を受けました。輪島は日本を代表する漆器産地であり、漆芸技術を学び、漆芸に従事する方が大勢いますが、その多くは家屋の倒壊や焼失により深刻な影響を受けています。

その被害を受けた漆芸従事者に向けた支援活動が、チャリティオークション「漆で繋ぐプロジェクト」です。本オークションでは、企画に賛同した漆芸従事者が作品を提供し、売上の100%が支援金に充てられます。2024年3月に開催された第1弾オークションでは約3,300,000円が集まり、漆芸従事者へ寄付されました。
※「漆で繋ぐプロジェクト」全体での寄付金額は約4,000,000円

■「のとのかけはし」について

「のとのかけはし」は上記オークションの一環として企画されたプロジェクトです。漆箸を制作し、その箸を販売しその収益の100%を支援金として活用します。第1弾では本学学生ボランティアが200膳を制作し、約700,000円の支援金が集まりました。

今回の第2弾では、前回とは異なる「**変わり塗り**」の技法で仕上げる漆箸150膳の完成を目指します。前回はオンラインによる入札形式でしたが、今回はオンラインと実店舗にて1膳3,000円で販売します。

地震発生から半年以上が経過しましたが、復興に向けた活動が続いています。継続的な支援が必要とされるため、本件を通して多くの方に興味を持っていただきたく、取材・広報のお願いを申し上げます。

■「のとのかけはし」ワークショップ日程

① 9月3日（火）13:00～16:30 研ぎ出し、拭き漆

② 9月4日（水）13:00～16:30 磨き、梱包

会場：東北芸術工科大学 新実習棟2階プロジェクトルーム1

参加：企画に賛同した学生ボランティアメンバー各回約10名

販売：9月14日（土）～9月21日（土）

WEBサイト：<http://urushinoto2024.wixsite.com/japan>

※9月1日から→<https://urushidetsunagup.j.studio.site>



前回の制作風景

■担当教員

工芸デザイン学科専任講師 松本由衣（専門分野：漆芸、クラフト）

※本プロジェクトは松本専任講師を中心とした漆芸家メンバーが運営しています